

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	州見台さくら保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人京都府保育協会		

平成 25 年 3 月 18 日

総 評	<p>州見台さくら保育園は平成20年4月に開園された新しい保育園です。広々とした道路や一戸建て住宅を中心に、計画的に開発されたニュータウンの中にあり、小学校と隣接し、少し足を延ばせば豊かな自然や美しい里山に触れる環境にあります。</p> <p>保育方針は園名「さくら」を頭文字にして、「さくらの花のように明るく」「雲より高くのびのびと」「・・・らしさを大切に」を掲げて、何よりも、元気な子どもを育てることを保育目標の第1にしています。</p> <p>園長をはじめ職員も20代30代と比較的若い職員で構成され、園の雰囲気は明るく開放的で、園内では床暖房が設置され子どもたちは、素足で過ごすなど、元気いっぱいな様子が見て取れました。</p> <p>中心的な保育内容に加えて、英語遊び、体育指導を特色とし、「耳づくり」「身体づくり」に取り組んでいます。</p> <p>毎月第1・3火曜日の午前中は地域の子育て家庭に園庭を開放して在園児と一緒に遊ぶ「ぽかぽか広場」に取り組む他、公民館の行事に参加したり、高齢者福祉施設で合唱や踊りを披露するなど、地域との関わりを大切にしています。</p> <p>職員間のコミュニケーションもよく図られ、行事や企画事に、皆で取り組み、子どもと共に一緒に楽しむ姿が見られます。また、会議・園内研修の持ち方を参加型に変更し、園全体で資質向上に取り組む姿勢、意欲がみられます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期事業計画書が策定されており、それに基づき事業計画書が作られています。地域の福祉・子育てニーズの把握に努め、園の役割、ビジョンが明確に記載されています。 ・「ぽかぽか広場」や高齢者福祉施設の訪問など地域との連携に配慮した取り組みが行われています。 ・職員間の連携をはかり意見を出しやすい工夫がなされており、職員が働きやすい保育園環境になるように配慮しています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の研修計画については、職員一人ひとりについて、個別の研修計画を立て、保育内容に研修内容を生かしていける工夫を望みます。 ・園児のアセスメントについて、時期と手順を決めて取り組まれるとなお良いでしょう。 ・「ヒヤリハット」事例集などの作成に取り組み、事故予防、安心・安全保育環境整備に、取り組まれることを望みます。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】
評価結果対比シート

受診施設名	州見台さくら保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	2013年3月18日（月）

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-2 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
	I-2-2 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている。	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	B
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・保育理念、基本方針、目標が明文化され、職員間の周知がはかられています。利用者に対してもパンフレットや入園のしおりなどで周知がはかられています。また、園のホームページにも保育理念などが明記され、広く周知されています。

・平成20～26年度中長期事業計画書が策定されており、それに基づき平成24年度事業計画書が作られています。地域の福祉・子育てニーズの把握に努め、園の役割、ビジョンが明確に記載されています。

・保育課程の編成や、各指導計画が組織的に系統だてられて作成されています。指導計画は園長、主任で確認、職員会議などで評価が行われ、次の立案に生かすよう取り組まれています。なお、保育課程の実施状況の把握・評価は、年度末だけでなく、あらかじめ定められた時期や手順を定めて、振り返り・見直しをされ、次へと繋げていかれると良いでしょう。

・保育課程をクラス懇談会で参加保護者に配布しています。今後は、配布対象を全保護者、地域関係者などに広げるなど、周知が進む事を望みます。また、園の特色である「英語遊び」「体育指導」については、指導計画に記載されていますが、それらの主旨や内容について、より判り易く説明されると、保護者・利用者の理解が進むでしょう。

・園長の提案で今年度から職員会議・園内研修では、テーマに対して意見が言い易い、参加し易い雰囲気づくりに努めています。保育効果や課題が整理され、職員・保育士の考えも明確になり、課題解決・資質向上に向けて取り組んでいます。

Ⅱ 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅱ－１ 経営状況の把握	Ⅱ－１－（１） 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
Ⅱ－２ 人材の確保・養成	Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	B
	Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
	Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	Ⅱ－２－（４） 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A
		② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A
Ⅱ－３ 地域との交流と連携	Ⅱ－３－（１） 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	Ⅱ－３－（２） 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A

[自由記述欄]

・「木津川市待機児童の解消対策等ガイドラインH.25.2」などを参照するとともに、地域の状況などを勘案して今後の入所児童把握に努めています。

・職員の就業状況の把握は園長・主任がつとめています。加えて、幼児・乳児組それぞれに副主任を、職員とのパイプ役として配置しています。園長は、月1回の連絡会や、年1、2回必ず全職員と面談を行い職員の意向も把握しています。園運営に求められる具体的人材プランを明文化すれば、更なる人事管理に活用できるでしょう。

・職員の有給休暇管理台帳が整備されており、状況が把握されています。職員の相談窓口は園規則に主任の役割と明記されており体制が整備されています。

・質の向上については、設置運営団体である社会福祉法人育宝会の綱領にも記載されています。積極的に各研修に参加していますが、現在未整備の個別研修計画を基本姿勢に添って作成し、研修目的を明確にすることや、研修内容・研修結果を共有し、保育実践へ活かすと良いでしょう。

・実習マニュアルを整備し、実習生用の資料「保育実習に入る前に」を作成して実習生を積極的に受け入れる体制を整えています。実習生の中からの職員採用も行われています。

・地域との関わりでは公民館行事「高齢者食事会」や高齢者福祉施設に園児が出向いて合唱や踊りを披露したりして交流を図っています。中高生の保育体験も3名あります。また、園機能の地域への還元としては、地域の子育て家庭に対して毎月第1、3火曜日の午前中に園庭を開放しています。ボランティア受け入れマニュアルも整備され、受け入れ担当者は主任となっています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ－１－（２） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ－２ サービスの質の確保	Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	B	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	A
	Ⅲ－２－（２） サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	B	B
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ－３ サービスの開始・継続	Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	B	B
	Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	B

[自由記述欄]

・法人として個人情報保護に関する基本方針及び規定が定められ苦情処理規程も整備されています。また苦情解決のための第三者委員2名の氏名や電話番号も掲示版に公表されており体制が整えられています。

・今回が初めての第三者評価受診です。園内では、自己評価を組織的に取り組んでおり、第三者評価事業の意義の理解につとめています。

・全園児を対象として家庭調査票及び保健調査票が作成され子どもの生活状況や身体状況が把握され記録されています。アセスメントの見直しはされていますが時期と手順を決めて取り組まれるとなお良いでしょう。

・サービス選択に必要な情報として、インターネットを活用したホームページを毎日アップし日々の園での活動状況を知らせるブログなどが活用されています。そのほかにもパンフレットが作成され市役所などに置かれています。

・利用者の理解を得るため、分かりやすい説明に努めていますが、同意された内容を書面に残すとなお良いでしょう。他の保育園に転園の事例は現在ありませんが、今後、保育の継続性に配慮した、手順、引継ぎ文書を整備されると良いでしょう。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	B	B
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

[自由記述欄]

・長時間保育連絡ノートで子どもたちの健康管理について職員同士の連絡体制を図っています。また、健康手帳が整備され、年2回の健康診断の結果を保護者に伝えています。児童原簿には一人づつ毎月の身体計測結果が記録され、発達の経過が判るようになっていきます。健康管理に関するマニュアルに沿って、日々の体調変化についての把握も、ミーティングなどをとおして、細やかに行われています。

・年1回の歯科健診結果は、すみやかに保護者に伝え異常がある場合は受診を勧めています。また、感染症発症状況や子どもの欠席状況については、その病名も含めて毎日掲示板で情報発信をしています。

・食事づくりは外部委託していますが、食育計画や毎食の残食記録などを基に月1回会議を開いて献立などの協議をしています。献立表を配布し、保護者に対しても毎月伝えています。食育の取り組みとしてはベランダに置いたプランターで野菜を栽培したり、訪問日も、クッキング保育(ピザトーストづくり)が行われ、調理・喫食に興味関心がもてるよう実践されています。メニューのサンプルを展示したり、保護者からの要望があればレシピを手渡すなど家庭との連携も積極的に取り組まれています。除去食については、医師の指示書に従い実施しています。幼児はランチルームでの食事でした。食育計画、指導計画に添って「食事を楽しむ工夫」を実践されれば更なる充実に繋がるでしょう。

・各部屋に温湿度計や加湿器、イオン発生機が設置されています。

・園舎は日当たりを考慮して建てられ、園庭には芝生が植えられ植物で季節感が感じられます。素足で芝生・砂・土などの感触に触れ、遊ぶ事が出来るよう工夫がされています。また、各保育室には、絵本、ままごとなど各コーナーが設けてあります。手作りの積み木など、オリジナルの工夫も随所に見られます。保育指導計画にそって、子どもの発達、人数など考慮し、玩具の種類、素材、数など、研究されると更なる遊び環境の充実に繋がるでしょう。

・幼児は、生活習慣を身につける取り組みや、テーブルを拭く、昼食の準備など、当番活動も行われ、子どもたちが、意欲的に活動する姿が見られます。また、異年齢グループで散歩に行ったり、グループの中で卒園する人にみんなでプレゼントを作ったりする取り組みを行っています。子どもの誕生日その日を園・クラスでお祝いする、クリスマスには保護者から言葉のプレゼントをお願い、企画するなど、一人ひとりが大切にされている活動が行われています。SIDSに対しては、5分毎に子どもの睡眠中の観察記録を取り確認しています。

・障害児保育については、個別支援計画書を見直したり、ファイリング方法を整理されると、より個別発達支援保育の充実に繋がるでしょう。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	B	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

- ・園児の保護者の育児支援として、個人懇談を行っており記録を作成しています。
- ・虐待対応マニュアルが整備されており地域の児童相談所との連携も図っています。マニュアルについては年度毎に、全職員で改定の必要性などについて話し合いを持たれると良いでしょう。
- ・一時保育の保育室を確保しており、一日定員12人を保育士2名で対応しています。また、保護者の様々な相談にも応じています。
- ・一時保育日誌の記録について、具体的に子どもの姿など記載されると、なお良いでしょう。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	B
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

- ・食堂厨房内安全衛生チェック表は毎日チェックされています。
- ・事故防止対策として、今後はヒヤリハット集などにも取り組まれ、事故予防環境づくりに取り組まれると良いでしょう。